



【様式 1】

夏期観測 2019 研究速報(プロジェクト報告書)

1.氏名

(和文) 戸田 敬
(英文) Kei Toda

2.所属

(和文) 熊本大学
(英文) Kumamoto University

3.共同研究者氏名・所属

(和文) 大河内博 (早稲田大学) , 竹内政樹 (徳島大学)
(英文) Hiroshi Okochi (Waseda University), Masaki Takeuchi (Tokushima University)

4.研究テーマ

(和文) 富士山の山頂および山麓における植物起源揮発性有機化合物およびその二次生成物の観測
(英文) Monitoring of biogenic volatile organic compounds and their secondary products at the summit and foot of Mt. Fuji

5.研究結果 (プロジェクト報告) の概要

(和文) 山麓および山頂において、BVOCs でもっとも顕著なイソプレンのモニタリングを行った。天候が典型的な夏山らしくなく、雨または曇りの日程であったが、それでも山麓で日中に上昇する日内変動を観測することができた。一方、山頂では、台風により早めに切り上げたためデータに限りがあるが、夕方に濃度が高くなる傾向がみられ、これまで考えてきた富士山における BVOCs の移動に関する考えを補強する結果となった。また、BVOCs の酸化二次生成物質の捕集を試み、その日内変動がみられるかどうか、検討中である。雲水の分析も分担し、イミダゾール化合物を検出した。ただし、その濃度は昨年に比べかなり低いものであった。

(英文) * 必須ではないが英文 HP に掲載するためなるべく記入ください。